

HEMSのモードを「AI予測制御モード」に切り替えることで、生活パターンに基づいた消費電力量と、日射量予報値に基づいた発電量を推計し、余剰電力を自家消費に有効にご利用いただく事ができます。

＜設定手順＞ HEMS (JH-RVB1) をご使用のお客様

- ① スマートフォン・タブレットから COCORO ENERGY (HEMS) にログインします。
<https://hems.cloudlabs.sharp.co.jp/cloudhems/pvt/A100000000.htm>
- ② ホーム画面の左上[メニュー]ボタンを押し
[設定する]⇒[宅外サーバー設定]⇒[蓄電池自動制御設定]を選びます。
- ③ 蓄電池自動制御画面で各種設定をします。
※電力モニタ側で蓄電池運転モードを設定していても、COCORO ENERGY側での蓄電池自動制御設定モードが優先されます。



COCORO ENERGY
ログインサイト

1 お住まいの郵便番号を入力

2 「天気予報連携を有効にする」をチェック お住まいの地域の天気予報などに応じて、自動的に蓄電池の充放電をコントロールします。

3 モード選択

●自産自消モード

晴れの日には太陽光で発電した電力を蓄電池に充電、曇りや雨で日中の発電が期待できないときは、前日の夜間に蓄電池を充電しておくことで、昼間の割高な電力の購入を抑えます。

晴れ：クリーンモード（夜間充電なし）に従って制御
雨：クリーンモード（夜間充電あり）に従って制御

●AI予測制御モード（おすすめ）※

余剰電力を有効活用するモードです。翌日の余剰電力を予測することで、夜間の蓄電池の充電量をコントロールし、翌日の余剰電力で充電。さらに対応するエコキュートがあれば、夜間の沸き上げをコントロールし、翌日の余剰電力で沸き上げをします。

※過去1ヶ月分以上の電力データが必要です。必要なデータが蓄積されるまでの間はAI動作をせず、データが蓄積され次第動作します。また、電力モニタの日時を確認してください。5分以上ずれている場合、電力データが蓄積されません。

4 「気象警報連携を有効にする」をチェック お住まいの地域で気象警報が発令されると、停電に備えて自動的に蓄電池の充電を開始。気象警報が解除されると、自動で元の運転モードにもどります。

5 対象とする警報を選択

6 [設定する]を押して、「設定されました」と表示される事を確認して完了です。